

# まちづくり情報

No.80

=発行者=

沼田市街なか対策課  
TEL 0278-20-1186



## ◇まち元気講演会◇ 「地域住民の利益が優先！地域密着顧客創造型商店街づくり！」

平成23年2月20日(日)に長野県佐久市岩村田本町商店街振興組合理事長の阿部眞一氏を講師として「まち元気講演会」をグリーンベル21で開催しました。(以下講演概要)

### 商店街振興組合

上信越道・新幹線によるインフラ整備により、大型店が進出し、にぎわいの場所が移動した。危機感を感じた若手経営者・後継者により平成8年に全国で最も平均年齢が若い商店街振興組合を設立した(それまでは協同組合)

### イベント

若手中心の商店街になり、集客を目的に精力的にイベントを行った。「日本一の〇〇」をキーワードに大々的にマスコミも巻き込んで開催したところ1日に何千人も集客することができた。そのようなイベントを何回も成功させて鼻高々になって



## 就任のごあいさつ

街なか対策課長 諸田 裕

4月1日付けの人事異動により、街なか対策課長に就任いたしました諸田裕でございます。

中心市街地街なか再生事業は、沼田市にとってはかつてない一大事業ではありますが、その大きな柱である土地区画整理事業も権利者皆様のご努力により進捗がみられ、また商業などの活性化につきましても商工会議所を中心として、各地権者や各商店街の方々、関係者皆様の積極的な協議が重ねられ、その姿が着実に現れつつあります。

これまで積み重ねられた関係者皆様方の努力や数々の成果を踏まえ、魅力ある中心市街地づくりに向け、微力ではありますが主役である皆様と共に誠心誠意努力してまいりますと考えておりますので、ご指導ご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

東日本大震災の被災者の皆様へ、謹んでお見舞い申し上げます。

また、一刻も早い被災地の復興と皆様の生活の安定をお祈り申し上げます。がんばろう！ニッポン！

いたが、気がついたら42件の商店街中15件が空き店舗になっていた。意向調査をしたところ住民はイベントに対して賛成であるが、商店街個店自体はイベントに対して反対の意見が多くなっていった。理由としては①経費②人材(手伝えない)③売上にならないうということだった。結果、イベントの実施は商店街の活性化ではないことに気がついた。商店街の活性化は個店を光らせ、光る個店の集合体が魅力ある商店街である。

### 空き店舗対策

光る個店を目指し個店経営講座等を開催。ただ、他人の店に土足で入るわけにはいかないのでその部分にも限界がある。そこで、空き店舗を利用して商店街で光る個店を作ろうという話になった。

①中宿おいでなん処 コミュニティスペースであり、サークル・団体等が年間6千人利用している。

②本町おかず市場 西友廃業により生鮮3品を扱う店が無くなった。生鮮3品がない商店街は成り立たないことから、まずは「おいでなん処」で朝市を試してみた。千五百人ほど来客があり、実態調査を行った。調査の結果、お総菜の需要が高かったため、おかず市場を開設した。8年目になるが年商二千二百万円、利益三百万円があるため、商店街の会費は徴収していない。

③本町手仕事村 空き店舗で新たに開店する場合、最終的には家賃が問題になる。そこで、6区画(各2.5坪)に分割し、一万五千元/月に設定した。物販については対象外とし、手作り、手仕事、技の町のコンセプトに基づく作業を伴う業種に絞った。その後、一定の成果がみえ、軌道に乗ってくると、さらなるスペースを求めるのでそのときは一つの空き店舗に移ってもらうシstemである。もう一つのポイントは大家との間に商店街が入ることによる安心、大家さんが商店街の応援団になったことである。

④子育て村 子育ては地域でするものという観点から、子育ての支援を商店街でしている。現在会員数千世帯あり、会員になると個店に応じた各種サービスを受けることができる。子育て村では子育てに関する小さなイベントを実施し、その都度アンケートを取った。結果、一番の心配事は教育であったことから「寺子屋塾」を開設した。ほか、乳飲み子・育児を持つ親を対象に子育て支援施設を経営。(井戸端会議、託児、子育て相談所)

◇買い物弱者等支援事業報告会◇

まち元気講演会に併せ、中の会商店街と下之町商店街が実施した買い物弱者等支援事業の報告会を開催しました。

【おなかま屋】

中の会商店街理事長 中島 庸一  
全振連の事業を活用し、「おなかま屋」を立ち上げた。半年間の実績としては、買い物代行20名が利用しており、件数にすると80件を超える。今年度実験的に施行したが、問題点として件数がまだ少ないので利用者に対し経費がかかりすぎる。また、出張商店街について月2回×3カ所で行っており、成果が出ている。今後継続していくためには、行政における何らかのバックアップが必要と考える。

【なんでもする隊】

下之町商店街理事長 鈴木 務  
下之町においても中の会と同様に買い物代行となんでもする高齢者サービスを始めた。感想としては、実際のサービス時間よりも世間話の方に時間が費やされるが、商店街としてはそれでよいと考えている。やはり基本は人と人との繋がりであり、商売は地域のコミュニティである。今後は平成22年度の反省も踏まえ、中の会と同様に平成23年度以降も是非続けたいと考える。

◇中心市街地活性化の会 先進地視察◇



町屋再生プロジェクト実施後

平成23年3月6日・7日に12名の参加

で新潟県村上市・山形県鶴岡市の視察を行いました。村上市については、城下町における町屋づくりの内部公開や、人形さま・屏風を活用したソフト事業による取り組み、黒塚プロジェクト、町屋再生プロジェクト（右写真）によるハード事業の取り組みを視察しました。ハード事業については、全国の賛同者からの基金により資金を調達する手法を活用していました。鶴岡市については、民間ではありませんが、中心市街地において高齢者専用住宅の建築を行い、街なか居住を取り戻す取り組みを視察しました。

◇今年も始まります！六斎市◇

今年も六斎市が6月11日（土）から開催されます。原則として8月を除く12月までの毎月第2土曜日に開催します。場

所は『六斎広場』（旧宮前薬局跡地）で開催します。新鮮野菜をはじめ、農産物加工品、下田市などの物産、和装小物等を販売します。また、各種イベントも予定していますので皆さんお出掛けください。

◇下之町交差点改良工事◇

8街区北側にある本町通りと県道戸鹿野下之町線の交差点拡幅改良工事が3月に完了しました。右折車線が整備され利便性が向上されました。工事中には関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたが、皆様のご協力により供用が開始されました。ありがとうございました。

◇都市緑化事業◇

本町通り上之町の移転工事が進んでいるエリアで昨年度設置した花壇に花を植えました。

◇黒塚◇

夢蔵周辺の塀を町屋風に黒く塗り直しました。皆さんの感想をお聞かせ下さい。



夢蔵（中町）

◇交通量調査を実施します◇

中心市街地まちづくり事業における交通の流れを測定するため、上之町・下之町において5月22日（日）・24日（火）午前7時から午後7時までの日程で実施します。

◇中心商店街のにぎわい創出を応援します◇

中心商店街（上之町・中町・下之町の区域）を活性化するための「商店街にぎわい創出事業」に対し補助金を交付します。補助対象者は中心商店街の活性化に取り組もうとする団体などで、補助率は補助対象経費の3分の1以内（新規性のあるものについては、さらに群馬県の補助が該当になる場合もあります）その他、空き店舗補助事業についても、気軽にご相談ください。

街なか対策課 人事異動のお知らせ

平成23年4月1日付けで、次のとおり人事異動がありました。今後ともよろしく願います。なお、機構改革により街なか対策部は建設部と統合し都市建設部となり、部長は前街なか対策部長の生方秀二が就任しました。

【転入（内部異動含む）】

- 街なか対策課長 諸田 裕（議云事務局次長兼庶務係長）
- 企画振興係長 倉品 敦（街なか対策課区画整理係長）
- 区画整理係長 山田 重之（上下水道課下水道係長）

【転出】

- 街なか対策課長 細野 文男（体育課長）
- 課長補佐兼企画振興係長 宮川 泰（都市計画課長）

大変お世話になりました。